

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、薬剤部では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

Triple Whammy リスク因子のNSAIDs がアセトアミノフェンであった場合の腎機能への影響

[研究対象者]

2019年1月から2021年12月の間に、東京女子医科大学病院に通院または入院された方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、身長、体重、血液検査（Cr、eGFR、BUN）、尿蛋白、処方歴

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

レニン・アンジオテンシン系阻害薬（renin-angiotensin-system inhibitor; RASI）と利尿薬を併用中の方に、非ステロイド性抗炎症薬（non-steroidal anti-inflammatory drugs; NSAIDs）もしくはアセトアミノフェンを追加した際の腎機能への影響について解明することを目的とします。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2024年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 薬剤部 薬剤副部長 深谷寛

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 薬剤部 外賀裕次郎

電話：03-3353-8111（内線 33121）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：なし Eメール：geka.yujiro@twmu.ac.jp